

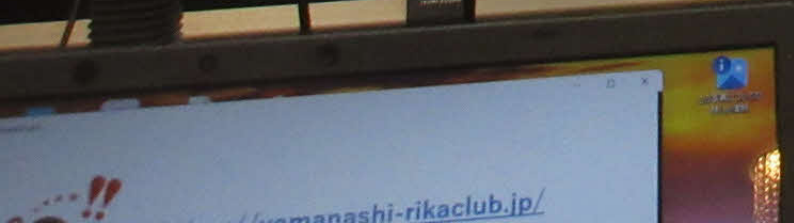
専門：電気電子材料工学（金属・化学・材料プロセス系）
特に、超臨界流体を用いた材料創製



共立出版2005
(冊子版刊行中現在第8刷)



コロナ社2012
(冊子版刊行中)





専門：電気電子材料工学（金属・化学・材料プロセス系）
特に、超臨界流体を用いた材料創製



共立出版2005
(冊子版刊行中現在第8刷)



コロナ社2012
(冊子版刊行中)

甲府市総合防災訓練

定期演奏会写真のQSLカード



日本アマチュア無線連盟山梨県支部運営委員
日本アマチュア無線振興協会養成課程講習会講師
第一級アマチュア無線技士、第一級陸上無線技術士
山梨大学アマチュア無線部顧問
山梨大学アマチュア無線クラブ (JA1YFL) 代表者
梨響シニアオーケストラ所属 (第一バイオリン)

工学部の沿革 | 工学部HPより

大正13年（1924年）、国立山梨高等工業高校として創立しました。

1924年	国立山梨高等工業学校創立機械科・電気科・土木科の3科（総定員90名）
1944年	国立山梨工業専門学校と改称
1945年	学徒動員学生の一部広島原爆で死亡（平和公園慰霊碑の写真）
1949年	国立山梨大学工学部として4学科 （機械工学科/電気工学科/土木工学科/応用化学科）で発足
1950年	附属醗酵化学研究施設設置
1957年	発酵生産学科設置
1960年	精密工学科設置
1961年	電子工学科設置
1962年	附属無機合成研究施設設置
1965年	大学院工学研究科（機械工学専攻/電気工学専攻/土木工学専攻/応用化学専攻/発酵生産学専攻/精密工学専攻/電子工学専攻）修士課程設置
1965年	工学基礎教室設置
1966年	各学科に講座増設（多人数教育導入）

1970年	計算機科学科設置
1972年	機械工学科に特別編入制度導入
1973年	電気工学科に特別編入制度導入
1974年	環境整備工学科設置
1974年	大学院工学研究科計算機科学専攻修士課程設置
1978年	大学院工学研究科環境整備工学専攻修士課程設置
1989年	工学部を4大学科 (機械システム工学科/電子情報工学科/土木環境工学科/化学生物工学科) に改組
1992年	大学院工学研究科博士後期課程 (物質工学専攻/社会・情報システム専攻) 設置
1992年	大学院工学研究科博士前期課程 (機械システム工学専攻/電子情報工学専攻/土木環境工学専攻/化学生物工学専攻) 改組
1997年	T1号館完成 (学部キャンパス再開発計画に着手)
1998年	循環システム工学科設置、 学部6学科 (機械システム工学科/電気電子システム工学科/コンピュータ・メディア工学科/土木環境工学科/物質・生命工学科/循環システム工学科) 体制に改組
2002年	循環システム工学専攻自然機能開発専攻及び持続社会形成専攻設置、 大学院工学研究科博士前期課程(機械システム工学専攻/電気電子システム工学専攻/コンピュータ・メディア工学専攻/土木環境工学専攻/物質・生命工学専攻/循環システム工学専攻/自然機能開発専攻/持続社会形成専攻)体制に改組旧山梨大学、旧山梨医科大学を統合し、山梨大学が開学

2003年	学科改組物質・生命工学科を応用化学科、生命工学科に改組・再編
2004年	国立大学法人山梨大学が発足 山梨大学大学院医学工学総合教育部の専攻設置 循環システム工学専攻、持続社会形成専攻を廃止し、持続社会形成専攻を設置
2005年	工学部附属ものづくり教育実践センター設置
2007年	工学部附属国際流域環境研究センター設置
2008年	専攻改組 物質・生命工学専攻を応用化学専攻、生命工学専攻に改組
2009年	専攻改組自然機能開発専攻を人間システム工学専攻に改組現在に至る
2012年	工学部を7学科 (機械工学科/電子電子工学科/コンピュータ理工学科/情報メカトロニクス工学科/土木環境工学科/ 応用化学科/先端材料理工学科) に改組
2019年	情報メカトロニクス工学科をメカトロニクス工学科に名称変更
2022年	附属基礎教育センター設置 燃料電池ナノ材料研究センターを水素・燃料電池ナノ材料研究センターに改称
2024年	工学部を1学科7コース 総合工学クラス創設 (工学科 クリーンエネルギー化学コース/応用化学コース/土木環境工学コース/コンピュータ理工 学コース/機械工学コース/メカトロニクスコース/電子電子工学コース) に改組

1年次

化学系クラス

土木環境系クラス

総合工学クラス

情報系クラス

機械電気系クラス

2年次以降



クリーンエネルギー
化学コース



応用化学コース



土木環境工学コース



コンピュータ理工学コース



機械工学コース

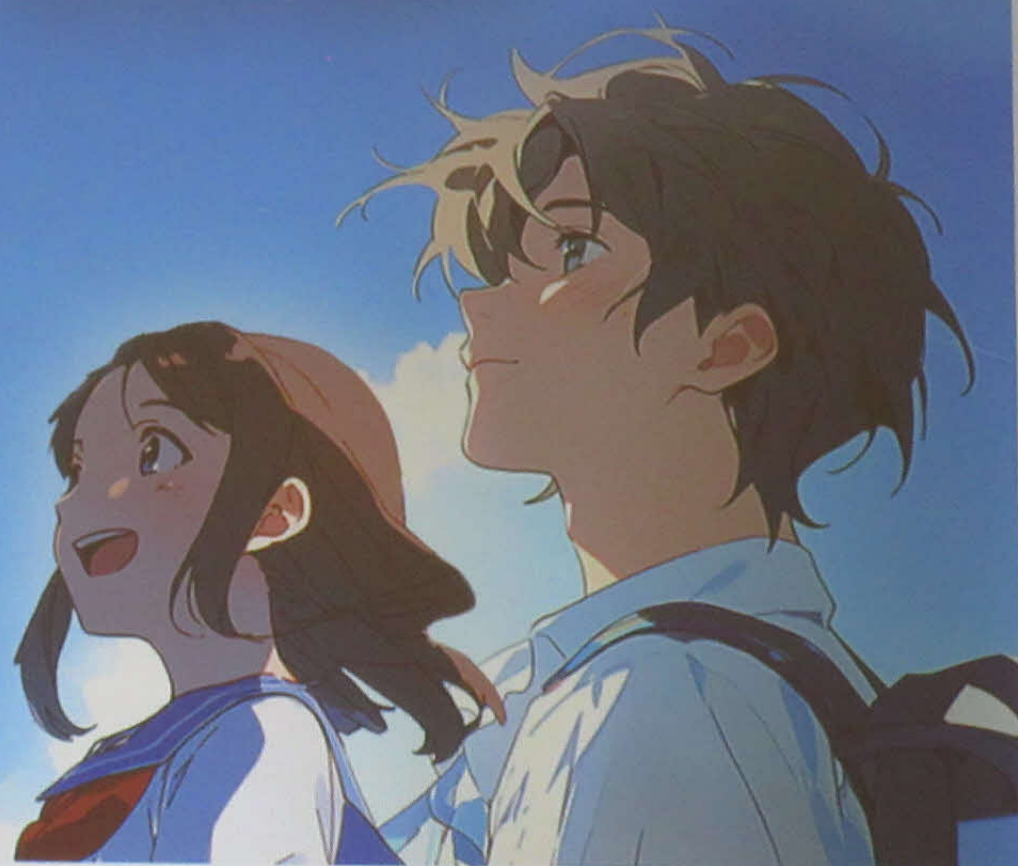


メカトロニクスコース



電気電子工学コース

1年次はクラスで
工学基礎を体系的に学び
2年次からはコースで
専門性を高める



改組後

1年生の科目・時間割は共通

1年次のクラス専門科目

別表1

部門	区分	授業科目番号	授業科目名	単位	毎週時間数		教養免許	備考
					前	後		
工学部共通	工学基礎科目	UPC101	微分積分学Ⅰ	2	2	●		
		UPC102	微分積分学Ⅱ	2	2	●		
		UPC103	線形代数Ⅰ	2	2	●		
		UPC104	線形代数Ⅱ	2	2	●		
		UPC105	微分方程式	2	2	●		
		UPC106	基礎物理学(力学)	2	2	①	☆	
		UPC107	基礎物理学(波動・光・熱)	2	2	②		
		UPC108	基礎物理学(電磁気学)	2	2	③		
		UPC109	基礎化学	2	2	④		
		UPC110	基礎無機化学	2	2	☆		
		UPC111	基礎有機化学	2	2	☆		
		UPC112	基礎生物学	2	2	☆		
		UPC113	実践ものづくり実習	1	2	2	◆	
工学部共通	工学基礎科目	UPC114	化学安全と衛生	2	2	④	☆	
		UPC115	基礎分析化学	2	2	④	☆	
		UPC116	土木環境工学概論	2	2	④		
		UPC117	環境化学	2	2	④		
		UPC118	プログラミング基礎	2	2	④	★	
		UPC119	離散数学	2	2	④		
		UPC120	デザイン基礎	2	2	④		
		UPC121	Python プログラミング	2	2	④		
		UPC122	統計処理入門	2	2	④		
		UPC123	基礎ゼミ	2	2	●		
クラス共通	工学基礎科目	UPC150	基礎物理化学	2	2	▲	☆	化学系クラス
		UPC151	化学熱力学Ⅰ	2	2	▲	☆	化学系クラス
		UPC152	自然科学実験	2	4	▲	☆	化学系クラス
		UPC153	土木環境デザイン	2	2	▲	★	土木環境系クラス
		UPC154	数値計算および実習	2	2	▲		土木環境系クラス
		UPC155	応用物理学	2	2	▲		土木環境系クラス
		UPC156	社会と科学技術	2	2	▲		総合工学クラス
		UPC157	情報処理及びプログラミング基礎演習	2	4	▲	★	情報系クラス
		UPC158	プログラミング応用及び演習Ⅰ	2	2	▲	★	情報系クラス 4学期制(前半)
		UPC159	プログラミング応用及び演習Ⅱ	2	2	▲	★	情報系クラス 4学期制(後半)
		UPC160	機械工学概論	2	2	▲	★	機械電気系クラス
		UPC161	電気基礎	2	2	▲		機械電気系クラス
		UPC162	C言語プログラミング	2	2	▲		機械電気系クラス

改組前

学科ごとのカリキュラム・時間

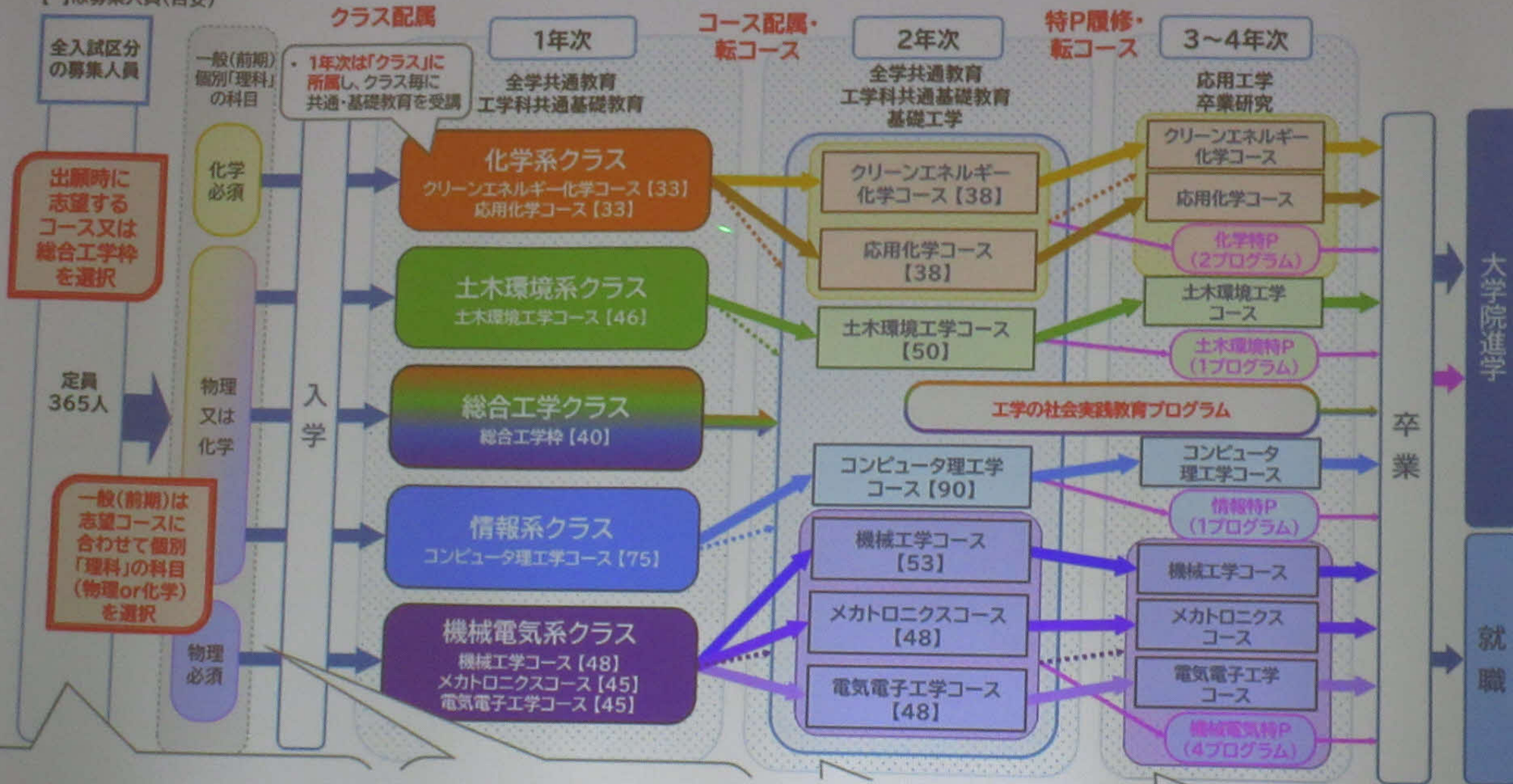
機械工学科専門科目

別表2

部門	系列	授業科目番号	授業科目名	単位	毎週時間数(前期・後期)				備考
					1年	2年	3年	4年	
基礎教育	数学	TPC101	微分積分学Ⅰ	2	2	0			●
		TPC102	微分積分学Ⅱ	2	0	2			●
		TPC103	線形代数Ⅰ	2	2	0			
		TPC104	線形代数Ⅱ	2	0	2			
		TME201	微分方程式	2		2	0		
		TME202	応用数学	2		0	2		
		TME301	複素関数論	2			0	2	
	情報	TME203	確率統計学	2		2	0		●
		TME302	数値計算及び実習	2			2	0	
		TME303	コミュニケーション	2			2	0	
	自然科学	TME102	基礎物理学Ⅰ	2	2	0			●
		TME103	基礎物理学Ⅱ	2	0	2			
		TME204	応用物理学	2		2	0		
		TME104	基礎化学	2	2	0			
社会科学	TME304	技術英語Ⅰ	2			0	2		
	TME305	技術者倫理	2			0	2	●	
基礎工学	TME106	機械工学デザインⅠ	1	0	3			●	
	TME205	機械工学デザインⅡ	1		3	0		●	
	TME206	機械工学デザインⅢ	1		0	3		●	
	TME207	ものづくり実習Ⅰ	1		3	0		●	
	TME208	ものづくり実習Ⅱ	1		0	3		●	
	TME306	機械工学実験Ⅰ	1			3	0	●	
	TME307	機械工学実験Ⅱ	1			0	3	●	
	TME107	材料力学Ⅰ	2	0	2			①	
	TME210	機械力学	2		2	0		③	
	TME211	熱力学	2		2	0		⑤	
	TME212	材料力学Ⅱ	2		2	0		①	
	TME108	材料の科学Ⅰ	2	0	2			②	
	TME214	振動工学	2		0	2		③	
	TME215	流体工学Ⅰ	2		0	2		④	
	TME216	伝熱工学	2		0	2		⑤	
	TME109	加工学Ⅰ	2	0	2			⑥	
	TME220	材料の科学Ⅱ	2		2	0		②	
	TME309	制御工学Ⅰ	2			2	0	③	
	TME310	流体工学Ⅱ	2			2	0	④	

○ 新・工学部 学生の所属先をベースとした流れ

[]は募集人員(目安)



復興 ネットゼロ
デジタルネイティブ 大学全入時代 経済成長
平和 水素社会 安全保障 山梨大学 Innovation
多様性 科学技術 次世代エネルギー 未来

Volatility
変動性

Uncertainty
不確実性

Complexity
複雑性

Ambiguity
曖昧性

VUCA (ブーカ) 時代

社会経済
将来

Society5.0

技術革新

承認欲求

Sustainable GDP

伝統文化の継承

宇宙旅行

新型コロナ

自分

総合工学

モラトリアム

社会が大きく変化・変動する

予測困難な時代に求められる人材の育成

「未来社会に向かってすべきことを見つけられる」が必要
そんな思いから総合工学クラスを新設しました！！

どんな人におすすめ？

基礎科目を広く学んだ上で、専門分野に進みたい。

とにかくいろいろなことに興味がある。いろいろなことを学びたい。

専門分野の特徴をしっかりと見極めてから自分の専門を決めたい。

希望する専門分野と他の専門分野のつながりを知りたい。



新しい自分を発見したい。

総合工学クラスへの進学を考えてみませんか？

総

合工学クラスでなにが学べる？

1 年次

総合工学クラスの特徴

社会と科学技術

オムニバス形式の
授業でコース選択
を支援

2 年次～

工学の社会実践
プログラム

化学系クラス科目

基礎物理化学

化学熱力学I

自然科学実験



土木環境系クラス科目

土木環境デザイン

数値計算および演習

応用物理学



情報系クラス科目

情報処理及び
プログラミング基礎演習

プログラミング応用
及び演習I

プログラミング応用
及び演習II



機械電気系クラス科目

機械工学概論

電気の基礎

C言語プログラミング



各コースの科目

各コースごとの
専門科目群

コース
選択

自分の興味に応じて、各
クラスの科目を履修可能

工学部共通科目

共通教育科目

総合工学クラスでの学生生活、各種行事

4月	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	4
ガイダンス	宿泊研修	面談	ラボ見学	OC			学祭	面談			配属	各コースへ進級
基礎ゼミ 社会と科学技術				探求と対話								
各クラスの科目を履修												
クラスルームでの交流												

必ず学べる！

コース希望・得意分野・成績等やコーディネーターとの相談を踏まえて**第1希望または第2希望のコース**いずれかに配属されます。第3希望以下に配属されることはありません。

入学後ガイダンス



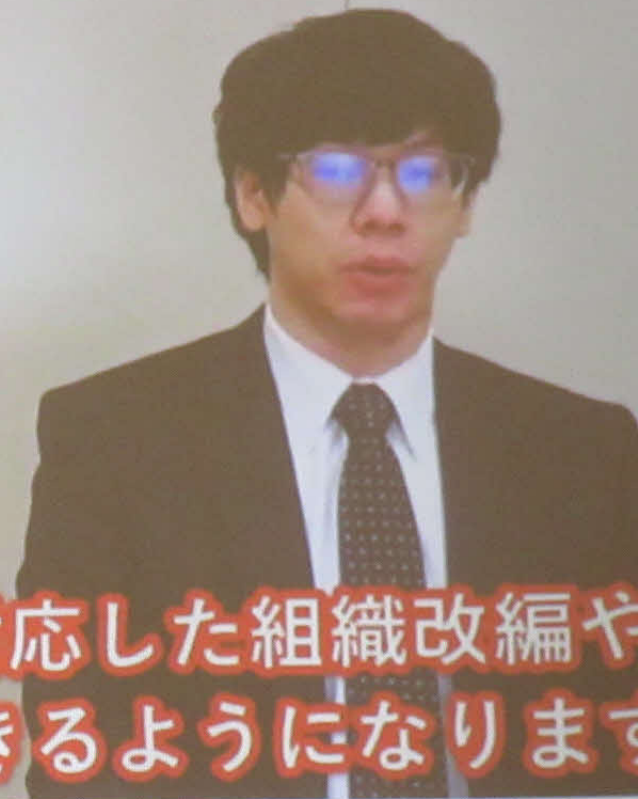
履修科目を決める際に、**全コースの教員**から、コースの紹介やカリキュラムの説明を受けることができます。工学科が一丸となってコース選択を支援します。

コーディネーターとの面談



豊富な教育経験を有する**クラス専属のコーディネーター**を配置しており、コースの担当教員とは異なる立場から情報提供や助言を受けることができます。

①理工系の学部はどのような改組を行ってきたのか



学科よりも柔軟に、新しい社会ニーズに対応した組織改編や
入学後の学生の進路変更などに対応ができるようになります

③大きくくり化の改組は入試にどのような影響を与えるのか

2024年4月～

1 年次 (クラス)

化学系クラス

土木環境系クラス

総合工学クラス

情報系クラス

機械電気系クラス

2 年次 (コース)

クリーンエネルギー化学コース

応用化学コース

土木環境工学コース

コンピュータ理工学コース

機械工学コース

メカトロニクスコース

電気電子工学コース

※大学公表情報を元に作成

※2023年2月時点での情報であり、今後変更の可能性あります。

最初に幅広く基礎を学び、
年次が進むにつれて専門を細分化していく流れです



理工系の最新入試動向まとめ (Benesse High School Online)

- 学科をコースに変えることで、新しい社会ニーズに対応した組織改編や入学後の学生の進路変更などに、より柔軟に対応できるように
- 理工系は大きくくり化が進み、より柔軟なカリキュラム設定、進路選択が可能に
- 山梨大改組では
 - 条件を満たせば他のコース（転コース）も選択可能
 - 「総合工学クラス」があり、より柔軟な進路選択が可能です。このクラスに所属した生徒のみ、進級時にすべてのコースを選択できるのです。
入学後に分野を決定したい、学ぶ中で適性や進路を見極めたいという受験生に、柔軟に対応できる制度

年度	大学名	主な内容
2016	福井大	工学部を8学科から5学科に改組。
2016	信州大	工学部を7学科から5学科に改組。
2016	名古屋工業大	工学部を7学科から5学科に改組。
2016	北見工業大	工学部を6学科から2学科に改組。
2017	山形大	理学部を5学科から1学科に改組。
2017	新潟大	工学部を7学科から1学科(9プログラム)に改組。
2017	琉球大	工学部を4学科から1学科(7コース)に改組。
2018	茨城大	工学部を8学科から5学科に改組。
2018	埼玉大	工学部を7学科から5学科に改組。
2018	富山大	工学部を6学科から1学科(5コース)に改組。
2018	京都工芸繊維大	工芸科学部を9課程から6課程に改組。
2018	香川大	工学部を4学科から創造工1学科(7コース)に改組。
2018	九州工業大	「類」で受験・入学し、2年生進級時に学科配属を行う類別入試を導入。 工学1～5類、情工1～3類を設置。
2018	熊本大	工学部を7学科から4学科に改組。
2019	臺灣工大	工学部から理工学部へ(創造工学科、システム理化学科)に改組。
2019	宇都宮大	工学部を4学科から1学科に改組。
2019	東京工業大	入学時の配属が類から学院になる。
2019	東京農工大	工学部を8学科から6学科に改組。
2019	三重大	工学部を6学科から1学科に改組。
2019	愛媛大	理学部を5学科から1学科に改組。工学部を6学科から1学科に改組。
2019	佐賀大	理工学部を7学科から1学科に改組。農学部を3学科から1学科に改組。
2020	九州大	芸術工学部を5学科から1学科(5コース)に改組。
2020	鹿児島大	工学部を7学科から2学科に改組。
2021	九州大	工学部を「学科群」での選抜に変更。
2023	大分大	理工学部を2学科8コースから1学科9プログラムに改組。
2024	山梨大	工学部を7学科から1学科(7コース)に改組。

「くくり入試」

受験生

- メリット
 - 入学後に決められる
 - 定員が大きく、入りやすく見える。
- デメリット
 - どの専門になるかわからない
 - 専門振り分けの基準がわからない

大学

- メリット
 - 細分化せず総合的教育
 - 教員のタコツボ化を防止
 - 勉学意欲を担保
 - 各専門分野（学科）の定員を柔軟に設定
- デメリット
 - 受験生確保に不安
 - 特定分野（学科）に特定成績層

課題：小さい「くくり枠」は本質的に第2志望にされてしまう「選べない」優柔不断な学生が来るのではないか？

	課程・学科・コース・系	入学 定員	一般選抜		学校推薦型選抜						総合型選抜		私費	合計
			前期	後期	I	I (女子枠)	I (A)	I (B)	I (C)	II	I	II		
工 学 部	クリーンエネルギー化学 コース	365	(18)	-	4	2	-	-	-	-	6	3	若干	33
	応 用 化 学 コース		(18)	-	4	2	-	-	-	-	6	3	若干	33
	土 木 環 境 工 学 コース		(30)	-	8	2	-	-	-	-	3	3	若干	46
	コンピュータ理工学 コース		(47)	-	8	2	-	-	-	-	6	12	若干	75
	機 械 工 学 コース		(32)	-	8	2	-	-	-	-	3	3	若干	48
	メカトロニクス コース		(29)	-	8	2	-	-	-	-	3	3	若干	45
	電気電子工学 コース		(29)	-	8	2	-	-	-	-	3	3	若干	45
	総合工学 枠		(10)	30	-	-	-	-	-	-	-	-	-	40
計		365	213	30	48	14	-	-	-	-	30	30	若干	365
● 前期日程においては複数コースの併願が可能です（33ページを参照）。従って（ ）の人数は目安であり、コース毎の合格者数が増減することがあります。最終的に工学科全体で募集人員を確保する方向で調整します。 ● <u>総合工学枠合格者は2年進級時に第1希望または第2希望で所属コースが決定されます。</u>														

- ・前期日程10名（全体の約5%）、第1～第3希望附して出願
- ・後期日程は総合工学枠のみで30名・配点に工夫
- ・特別選抜は設定なし
- ・2年進級時のコース配属は第2希望保証

大学名/学部入定	入定	国語	地歴公民	数学	理科	外国語	情報	共テ計	個数学	個理科	その他
山梨大365	10	200	50	200	200	200	50	900	350	250	配点は工共通
	30	250	100	300	200	150	100	1100	—	—	総合工学のみ
福島大	102	200	200	300	200	300	100	1100	300		後期数理選択
	50	200	100	400	200	200	100	1200			面接点300
北見工大(R7) 地球190, 地域220	地球環境69 地域未来78	10	50	300	300	250	(50)	1000	—	—	情報は地歴公民に込
	地球環境60 地域未来69	50	50	100	100	200	(50)	500	300	200	情報は地歴公民に込
北見工大(R8) 先進工学科410	147	100	50	300	300	200	50	1000	—	—	
	116	—	—	100	300	200	—	600	400	—	
琉球大350	209	200	100	300	200	200	100	1100	300	200	調査書150
	37	—	—	400	400	200	100	1100	—	—	調査書100
九工大総合類(R8)531	前期31	150	100	150	150	250	25	825	400	400	
	後期18	150	0	200	200	200	20	770	200	200	
宇都宮大290	化学系50 機電情報167	140	100	140	140	140	70	700	200	500	外国語100
	20	200	100	200	200	200	100	1000	200	200	外国語100
三重大(R5)400	総合工学40	100	50	100	100	200	—	550	300	200	募集前期のみ 配点は工共通
島根大(R7-)	前期167	200	50	200	200	200	50	900	400		後期数理外選択
	後期55	200	50	300	300	200	50	1100	—	—	面接100
愛媛大530(-R7)	理型308	100	50	150	150	150	50	650	200	200	調査書50
	理型82	100	50	150	200	200	50	750	300	—	調査書50
佐賀大500	分野一括44	200	200	200	100	200	30	930	360	240	配点理工共通
	分野一括6	150	100	150	50	150	20	620	400	400	配点理工共通
鹿児島大440	前先進工括37	100	50	200	200	250	20	720	300	150	25 外国語100

総合工学枠入試特徴 (後期日程)

- 個別入試が面接のみ
 - 類似 福島大学（内容不明）、島根大（口頭試問）
 - 同様の、北見工大、琉球大はコース別入試
- 配点
 - 国語が高く（2番目）、外国語が最も低い
 - 後期面接のみの中では、国・社・情の重みが際立つ
- 配属
 - 第2希望保証
 - 成績要件を明記していない
- 広報
 - 総合工学枠（クラス）だけのWEBページを有する
 - 他大学は、入試・カリキュラムの説明の一環

総合工学クラスの特徴

- R6改組でスタートした工学部初の「くくり枠」
- 入学後に専門分野（コース）を決める
- コース志望がかなう
- 教育・育成プログラムとして設計されている
- クラス専属のコーディネータを配置
- 教員－学生間、学生－学生間の交流を重視
- 多様な人材、文理型も意識した入試（後期日程）

自ら切り開く力をもつ
積極的・意欲的な学生に「初期化」

志願者の推移

令和6年度

令和7年度

令和8年度

前期日程

上昇傾向

後期日程

課題

工 学 部	工 学 科	クリーンエネルギー化学コース	18	17	0.9
		応用化学コース	18	45	2.5
		土木環境工学コース	30	45	1.5
		コンピュータ理工学コース	47	98	2.1
		機械工学コース	32	77	2.4
		メカトロニクスコース	29	60	2.1
		電気電子工学コース	29	38	1.3
		総合工学枠	10	18	1.8
		小 計	213	398	1.9

工 学 部	工 学 科	クリーンエネルギー化学コース	18	43	2.4
		応用化学コース	18	61	3.4
		土木環境工学コース	30	57	1.9
		コンピュータ理工学コース	47	118	2.5
		機械工学コース	32	103	3.2
		メカトロニクスコース	29	33	1.1
		電気電子工学コース	29	56	1.9
		総合工学枠	10	18	1.8
		小 計	213	489	2.3

工 学 部	工 学 科	クリーンエネルギー化学コース	18	39	2.2
		応用化学コース	18	41	2.3
		土木環境工学コース	30	83	2.8
		コンピュータ理工学コース	47	111	2.4
		機械工学コース	32	104	3.3
		メカトロニクスコース	29	61	2.1
		電気電子工学コース	29	77	2.7
		総合工学枠	10	34	3.4
		小 計	213	550	2.6

工 学 部	工 学 科	クリーンエネルギー化学コース			
		応用化学コース			
		土木環境工学コース			
		コンピュータ理工学コース			
		機械工学コース			
		メカトロニクスコース			
		電気電子工学コース			
		総合工学枠	30	249	8.3
		小 計	30	249	8.3

工 学 部	工 学 科	クリーンエネルギー化学コース			
		応用化学コース			
		土木環境工学コース			
		コンピュータ理工学コース			
		機械工学コース			
		メカトロニクスコース			
		電気電子工学コース			
		総合工学枠	30	276	9.2
		小 計	30	276	9.2

工 学 部	工 学 科	クリーンエネルギー化学コース			
		応用化学コース			
		土木環境工学コース			
		コンピュータ理工学コース			
		機械工学コース			
		メカトロニクスコース			
		電気電子工学コース			
		総合工学枠	30	171	5.7
		小 計	30	171	5.7

R8年度入学状況

- 工学部
入学者 392名、内総合工学クラス（枠） 40名
- 総合工学クラス
男 28、女 12人
県内 11
県外 29（神奈川 7、愛知 6、長野 4、静岡 3、東京 2、
福島、埼玉、千葉、新潟、徳島、島根、佐賀）
- 志願・受験状況
前期日程 合格者12/志願者34（全員第一志望）
後期日程 合格者 37/受験者58

高校・予備校での認知度や
評価が上昇

R8年度担当教員

所属	教職員	コース	教員
総合工学 クラス (GE)	近藤 英一 ¹⁾	クリーンエネルギー 化学コース (CL)	宮尾 敏広
	岡村 美好 ²⁾		
協力教員	武藤 慎一 (CE)	応用化学コース (AC)	植田 郁生
	橋本 一成 (EE) ⁴⁾		小俣 香織
事務職員	望月 美和	土木環境工学コース (CE)	中村 高志 ³⁾
		コンピュータ理工学コース (CS)	渡辺 喜道
		機械工学コース (ME)	船谷 俊平
			青柳 潤一郎
		メカトロニクスコース (JM)	金 蓮花
		電気電子工学コース (EE) (基礎教育センター(B))	村中 司

下線 本日出席者

- 1) 総合工学クラス長
- 2) コーディネーター
- 3) 担任
- 4) 副担任

新入生ガイダンス

各コースからの説明を受け、
配属を希望するコースを見
据えて、学生自身で履修科
目を決めます。

(4/2実施)



新入生ガイダンス



新入生宿泊研修を入学式前に実施

日時	事項	場所
4月3日 (金)		
10:00-11:30	プレイスメントテスト	山梨大学 (UY)
13:00-14:30	工学部ガイダンス	UY
14:30-15:00	総合工学ガイダンス	UY
15:00-16:30	大型バス移動	UY→伊予ロッジ (清里)
16:30-18:00	チーム作成と部屋移動、休憩	伊予ロッジ大研修室
18:00-19:30	夕食&歓談	伊予ロッジ食堂ビューフェスタイル
19:30-21:00	総合工学ガイダンス ・ SPARC & HUB プロ紹介 ・ 履修モデルワーク (武藤)	伊予ロッジ大研修室
21:00-23:00	交流会 & 入浴 ・ 自由交流	
23:00	就寝	
4月4日 (土)		
7:00	起床	伊予ロッジ食堂
7:00-8:00	朝食 & パッキング	伊予ロッジ大研修施設
8:00-9:00	履修申告ガイダンス	伊予ロッジ→井戸尻考古館
9:00-10:00	移動	井戸尻考古館 (館内 & 野外)
10:00-11:30	考古館見学 (受入: 小松館長)	井戸尻考古館→南ア市立美術館
11:30-12:30	移動 & 中部横断道 View	
12:30-13:30	昼食 (お弁当)	南ア市立美術館研修室
13:30-15:00	館長のお話 & 展示物見学	
15:00-16:00	個人履修モデルまとめ	
16:00-17:00	移動	南ア市立美術館→UY

宿泊研修の様子



宿泊研修の様子



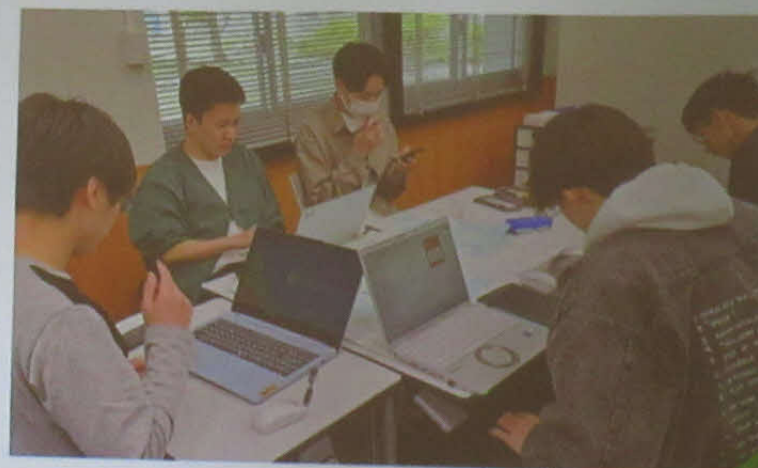
社会と科学技術

- ・ 選択した工学分野が社会的課題の解決のために役立っていくか
- ・ 入学時点でもっていた自身の志向の確認

⇒ 2年次コース選択や工学の社会実践について考える
ほかのコースの学生と協学

大好評

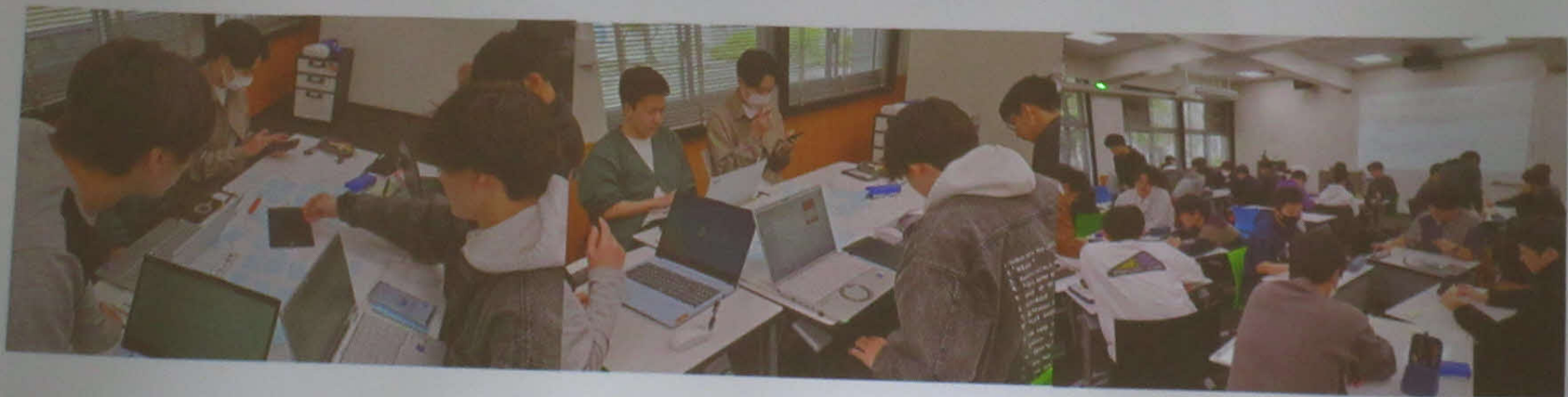
第1回	自身の適性を知る
第2回	社会課題と科学技術
第3回	科学技術の社会実装
第4回	科学技術概論
第5回	世界と山梨のクリーンエネルギー
第6回	化学で拓くIoT社会
第7回	機械工学が支える未来の健康
第8回	暮らしの中のメカトロニクス
第9回	エネルギーと情報通信を支える電気電子工学
第10回	コンピュータ理工学が創る未来
第11回	社会と土木環境技術
第12回	科学者、工学者としてのキャリア設計
第13回	グループディスカッション～工学の社会実践～
第14回	発表会 (1)
第15回	発表会 (2)、総括



探求と対話

学生同士の「対話」を通して、自分自身の進路や将来について考え、思考力やコミュニケーション力を高めるとともに、自分自身の進路を主体的に選択できるようになることを目指します。

「ホームルーム」的な役割も果たしています。



クラスルーム

総合工学クラス学生専用の控室(50m² x 2)
工学部としては総合工学クラスだけ
「行けば誰かがいる、仲間に会える」
分野を横断した交友関係の構築



解散式, コース配属

コース希望・得意分野・成績等やコーディネーターとの相談を踏まえて、第1または第2希望のコースいずれかに配属。

⇒ 令和6, 7年度は全員が第1希望のコースに配属されました。
(ただし, 各コースの希望者数によります。)

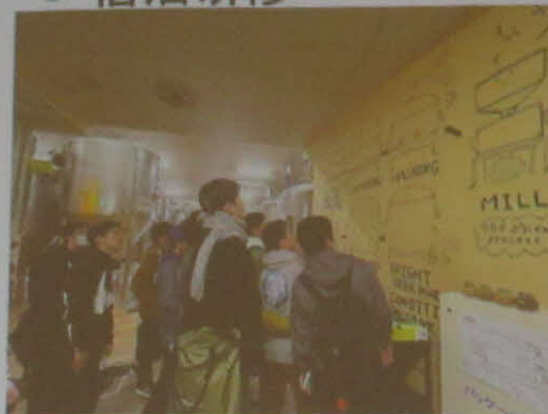


R8/2の解散式の様子

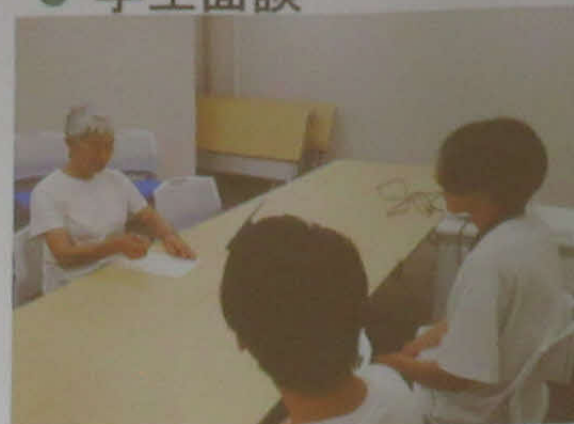
● 新入生ガイダンス



● 宿泊研修



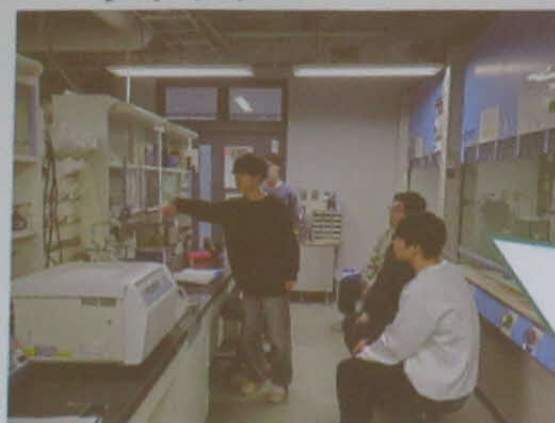
● 学生面談



● 大学祭展示



● ラボツアー



その分野の最先端の機器などが見れてとても面白かった。

非常に面白い研究室が多く楽しい時間だった。今後の選択の参考になった。

どの研究室も丁寧に説明してくださり、とても参考になりました。

どのような研究をやっているかやどんな人があるかなどの雰囲気を知れてよかった。

研究室の違いを見ることができて、四年生のイメージができて良かった。

● オープンキャンパス夏



● リーフレット作製



● オープンキャンパス秋



● ノベルティグッズ作



● HP整備



未来社会に向けて
「やるべきこと」が見つかる！

総合工学クラスの特徴

本学が誇る最先端の設備・施設、一流の先生陣による高度な授業、工学・デザイン・ビジネスの融合による実践的な学び、そして、社会で活躍するための様々な支援体制が、総合工学クラスの特徴です。

● ラジオ出演





総合工学クラス
イメージキャラクター
にじまる

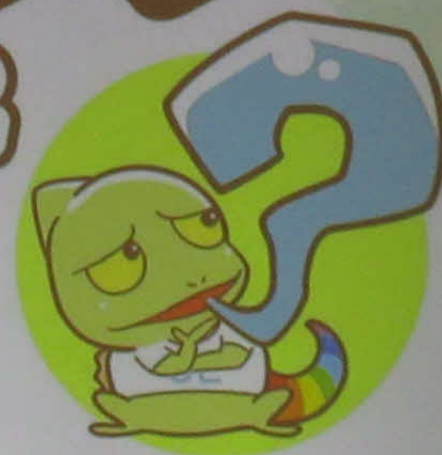


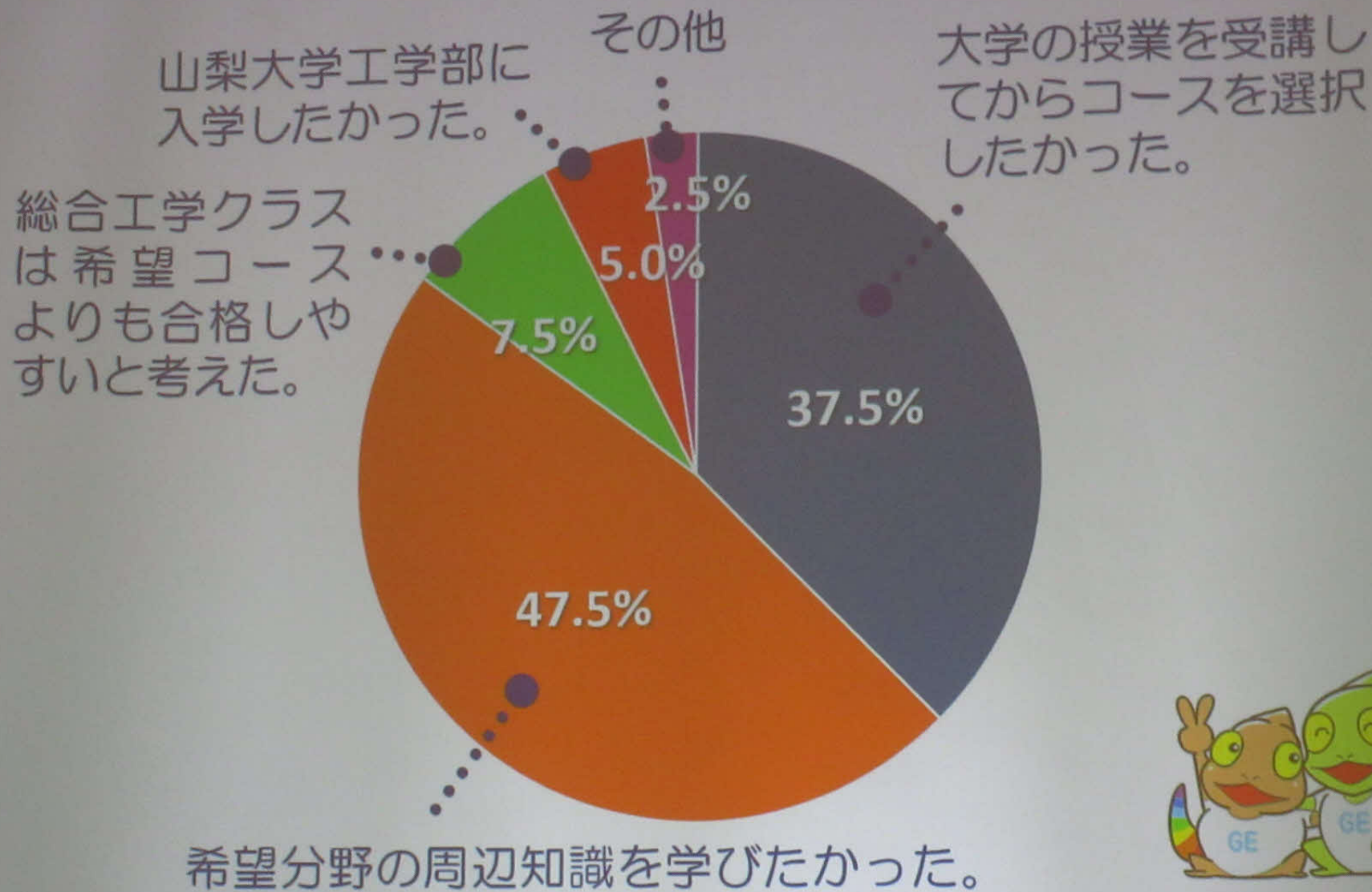
総合工学クラス公式イメージキャラクター

にじまる

LINEスタンプ 作りしました

いいね!





※令和8年度入学生アンケート

✓ 最終調査時と入学時の 第1希望コースの確定度合いの変化

どのコースにすればよいのか、
入学前よりもわからなくなった。

14% (6名)

確定度合いが
大幅に向上した。

36% (15名)

確定度合いは
変化していない。

21% (9名)

65%の学生の
確定度が向上

確定度合い
がやや向上

29% (12名)

✓ 総合工学クラス満足度

満足度 98%

少し不満

2% (1名)

とても満足

43% (18名)

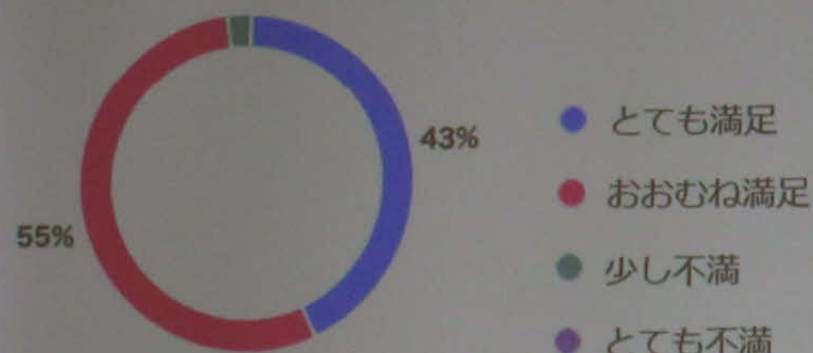
おおむね満足

55% (23名)

- 新設の総合工学クラスを適切に運営し
学生の進路選択を支援した。

アンケート結果(R6生)

総合工学クラス満足度

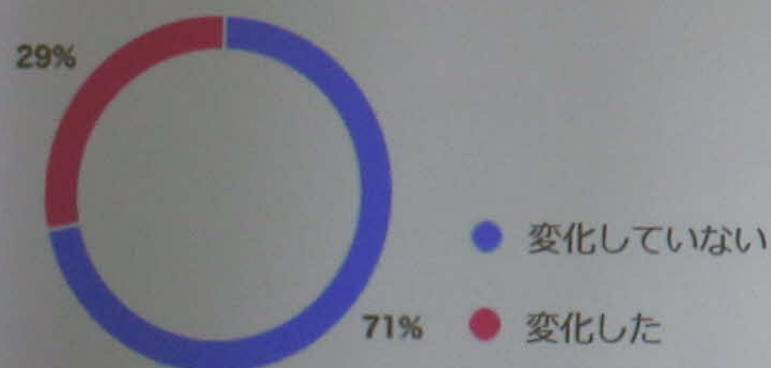


大学に入った後に、他の分野に興味をもったり、もともと志望していたコースがイメージと違ったりすることもあると思うので、総合工学のコース選択に縛られずに学べる形はとていいと思いました。

大学生になって新たな視点からコースについて考えることができたのでよかった。

いろいろなコースに必要な授業を受けれて、自分の向き不向きを知れたことが、このクラスにはいって一番良かった。

第1希望コースは変化したか？



自分のキャリアを多角的に考える授業も良かったと思う。

今後コースが分かれるであろう人たちと交流する事で、自分では得られなかった知見を得る機会が多々あり、楽しかった。

今後関係を保ち続けられるような仲間がたくさんできたことはとても幸せだと感じる。

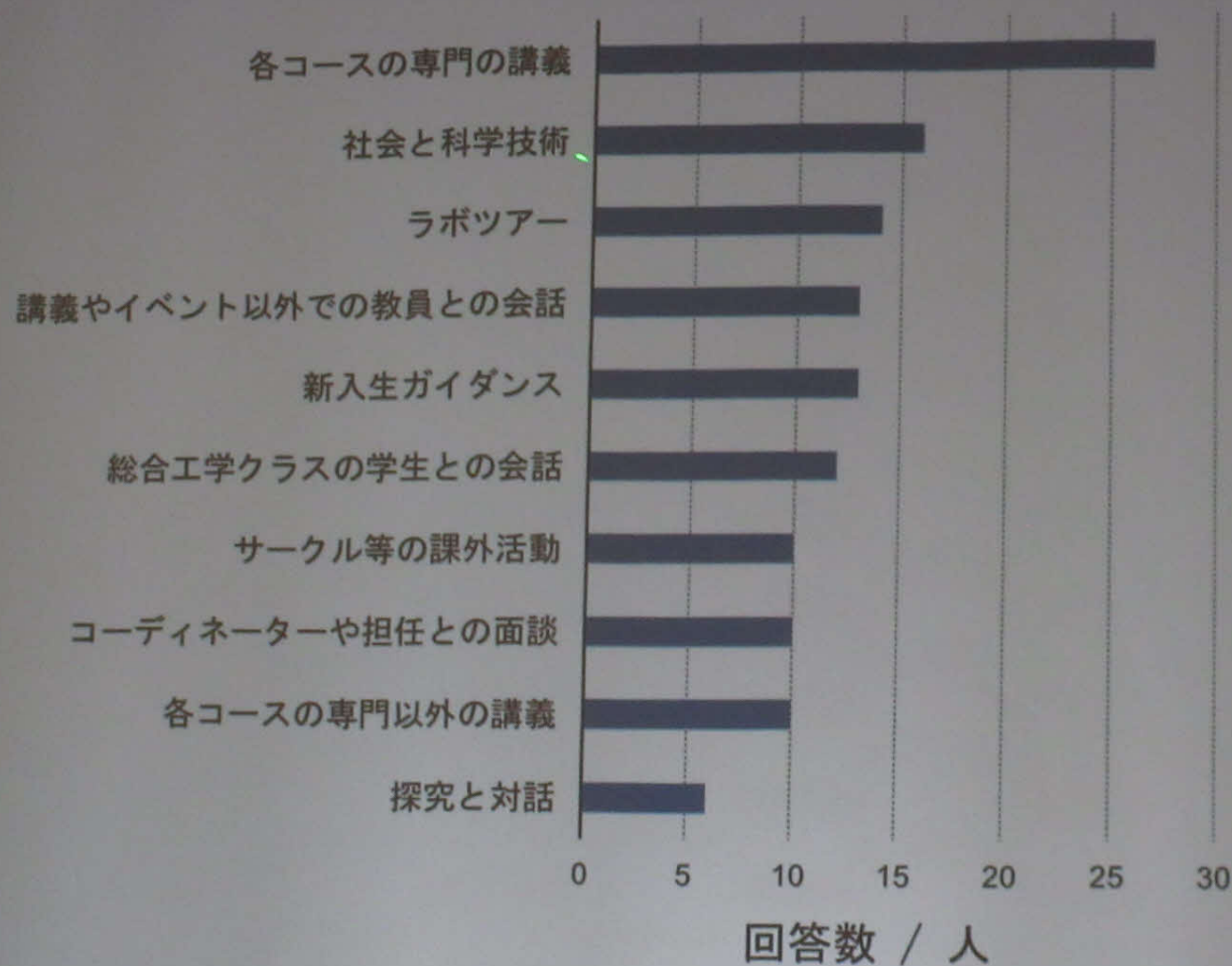


図 コース選択に役立ったと感じる活動

4. 総合工学クラスの新設と教育効果, 小俣 香織, 岡村 美好, 近藤 英一, 武井 貴弘, 郷 健太郎, 中山 栄浩, 工学教育 73, 56, 2025.

2026 東日本国公立大入試難易度予想ランキング (河合塾)

前期日程

共通得点率

後期日程

個別入試偏差値

公立千歳科学 (理工)	42.5	61
茨城 (工-都市システム工)	45.0	
宇都宮 (地域デザイン・社会基盤デザイン)	45.0	
信州 (繊維-機械・ロボット)	45.0	
山梨 (工-総合工学枠)	42.5	60
信州 (繊維-先進繊維・感性工)	45.0	
(繊維-化学・材料)	47.5	
新潟 (工-工(共通テスト重視型))	45.0	59
(工-工(個別学力検査重視型))	47.5	
茨城 (工-機械システム工)	42.5	58
宇都宮 (工-基盤工(機械・情報電子系))	45.0	
山梨 (工-応用化学)	45.0	
(工-メカトロニクス)	40.0	
(工-電気電子工学)	40.0	
弘前 (理工-電子情報工)	42.5	57
岩手 (理工-情報系)	42.5	
秋田 (情報データ-情報データ科学a理系)	40.0	
茨城 (工-電気電子システム工)	42.5	
宇都宮 (工-基盤工(化学系))	47.5	
群馬 (理工-電子・機械)	45.0	
山梨 (工-コンピュータ理工学)	42.5	
(工-機械工学)	42.5	
公立諏訪東京 (工-情報-情報システムB方式(4科目型))	47.5	
秋田 (情報データ-情報データ科学a文系)	40.0	56
山梨 (工-土木環境工学)	42.5	
公立諏訪東京 (工-情報-知能情報通信B方式(5科目型))	45.0	

68 弘前 (理工-電子情報工)	50.0
茨城 (工-機械システム工)	47.5
山梨 (工-総合工学枠)	
信州 (繊維-機械・ロボット)	47.5
(繊維-化学・材料)	52.5
67 岩手 (理工-情報系)	47.5
公立諏訪東京 (工-情報-知能情報通信一中)	47.5
67	
66 宇都宮 (工-基盤工)	
群馬 (理工-電子・機械)	
公立諏訪東京 (工-情報-情報システム一中)	50.0
65 秋田 (情報データ-情報データ科学)	45.0
茨城 (工-電気電子システム工)	47.5
(工-物質科学工)	47.5

「総合工学クラス」

- R6改組でスタートした工学部初の「くくり枠」
- 入学後に専門分野（コース）を決める
- コース志望がかなう
- 教育・育成プログラムとして設計されている
- クラス専属のコーディネータを配置
- 教員－学生間、学生－学生間の交流を重視
- 多様な人材、文理型も意識した入試（後期日程）
- 意欲的な学生が入学、満足度も高い
- 倍率は上昇傾向、工学部のHUB & DRIVERとして期待される







H A R U H a l l

治ホール

山梨大学工学部創立100周年に際し東京都調布市在住の天野三恵子様より多大なるご寄付を賜り、工学部100周年記念 共創環境棟 の建設に充てました。

本寄付は、天野三恵子様のご尊父である故・竹井光治様のご遺志である『故郷に錦を飾る』との思いを受け継ぎ、本学学生が志高く役立つようにとの思いからです。

また、故・竹井光治様、ご令室の故・竹井治子様のお名前の共通する「治」の字を希望され、「治ホール」といたしました。

なお、題字は天野三恵子様によるものです。

※竹井 光治(たけい みつはる)

山梨県塩山市(現在の甲州市)出身、昭和19年3月に本学部土木工学科を卒業後、竹井住宅産業株式会社を設立、数々の公共事業等に貢献されました。

2026年4月吉日











UNIVERSITY OF YAMAGUCHI
Zero Emission Mirai Lab

- 4F 実験室 1001 ↑
実験室 1002
- 3F 実験室 1003 ↑
学芸・研究図書室
- 2F 実験室 1004 ↑
実験室 1005
- 1F 実験室 1006 実験室 1007
実験室 1008





東屋の遍歴



1925 年開校当時



1949 年 5 月 (工学部 50 周年記念誌より)



1970 年 7 月 (工学部 80 周年記念誌より)

この東屋は、山梨大学工学部の前身である山梨高等工業学校が創設された翌年、1925 年に本館校舎の玄関車寄せとして建設されたものを、移設・再利用したものです。

1945 年の甲府空襲では校舎の大部分が焼失しましたが、この車寄せは奇跡的に被害を免れました。戦後の校舎再建後も引き続き使用され、現在の A1 号館の建設時に東屋としての活用が始まりました。屋根の形状は改修により変わっていますが、当時の特徴的な柱はそのまま残されており、今もなお当時の面影を伝えています。

そして、山梨大学工学部が創立 100 周年を迎えてもなお、工学部のシンボルとして学生や教職員の憩いの場として親しまれています。

2025 年 7 月 山梨大学工学部

The History of the *Azumaya*

This *Azumaya* (a traditional Japanese pavilion) was originally constructed as the porch of the entrance to the main school building in 1925, the year after the founding of Yamanashi Higher Technical School, the predecessor of University of Yamanashi's Faculty of Engineering, and was later relocated and repurposed. Due to the air raid of Kofu in 1945, most of the campus buildings were destroyed by fire, but this porch miraculously escaped damage. It continued to be used after the campus was rebuilt following the war, and it has served as an *Azumaya* ever since the construction of the A1-Building. Although the shape of the roof has changed through renovations, the distinctive columns from the original structure remain intact, preserving the spirit of its early days to this day. Even as the Faculty of Engineering celebrates its 100th anniversary, the *Azumaya* remains a beloved symbol of the Faculty—a place of rest and relaxation for students and faculty alike.

July 2025 - Faculty of Engineering,
University of Yamanashi

J-PEAKS による世界トップレベルの研究教育ハブの構築

研究強化事業「J-PEAKS」始動

採択大学は25大学のみ：山梨大学は、日本の研究力向上やイノベーション創出の一翼を担う拠点に選定されました！

山梨大学は、文部科学省「地域中核・特色ある研究大学強化促進事業（J-PEAKS）」に採択されました。J-PEAKSは、地域の中核大学等がそれぞれの強みを活かし、新たな価値を創造していくための事業です。延べ134大学の申請に対し、採択は本学を含め25大学という難関を突破しました。

今後J-PEAKSの支援を受けながら、日本有数のグリーン水素研究を世界トップレベルに強化するとともに、**大学全体の研究力強化と成果の社会実装を推進し、さまざまな強み・特色分野を育成します。**これにより、地域を変え、そして世界を変革することを目指します。

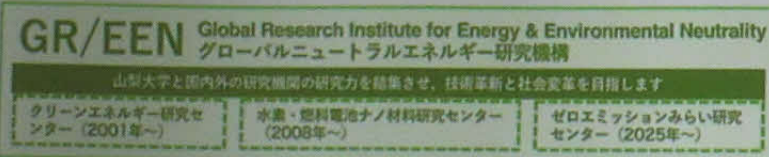


J-PEAKSは大学改革！学長が全ての教員・職員の所属部署に出向き、説明会を開催



グリーン水素の研究教育ハブ「GR/EEN」新設

水素先進地の山梨県で、研究と教育の基盤を築いてきた山梨大学：大学、地域、そして世界をつなぐ国際拠点に発展！



設立記念シンポジウム（2025年12月3日）



最新鋭の研究設備・機器の整備

山梨大学の学生や研究者はもちろん、学外の方も利用するための共用化促進



私たちが目指すグリーン水素社会とは？

水素を造る・使う技術の革新と社会実装へ



水素をエネルギーキャリアとして体系的に導入し、「製造（つくる）⇒貯蔵・輸送（たためる・はこぶ）⇒利用（つかう）」スキームを包括するエネルギーシステムを社会全体に展開する構想を実現させるために、J-PEAKSでは「研究開発⇔社会実装」のサイクルを加速させます。



最先端のサイエンスにもとづく教育カリキュラム

グローバルな視野を持ちながら、地方の課題解決や産業振興に貢献する人材

大学・大学院：国内唯一の特化型カリキュラム

- 工学部クリーンエネルギー化学コース
学士から修士、博士まで専門知識と技術を体系的に学習
- 福島大学等、国内のさまざまな大学と連携し、地域社会の課題解決や産業振興に関する実践型学習
- ドイツ、マレーシア、カナダ、米国等の連携大学に留学できるグローバル教育体制（構築中）

社会人対象のリカレント・リスクリング講座

- 人材育成を通じて、山梨県に事業所をもつ企業のグリーン水素関連事業への参入を促進：水素・燃料電池産業技術人材養成講座（2016年開設、185名以上が修了）



地域活性化人材育成事業～SPARC～



地域活性化人材育成事業～SPARC～



既存学部が有する教育リソースの活用による、デザイン思考に基づき多様で複雑な社会課題を解決に導く領域(文理)横断型人材の育成

学士(社会科学)

養成する人材像

- ① 「デザイン思考」に基づき主体的に行動して、新たな価値の創造に挑戦する起業家精神(アントレプレナーシップ)により社会の発展の原動力となる人材
- ② 地域社会と連携した地域共創により地域課題の解決に取り組み、地域活性化に寄与する人材
- ③ 課題解決型学習(PBL)を通じて、地域社会や企業等と連携・協働し、対話や合意形成を通じて現実の課題に主体的に取り組むことができる人材
- ④ 「社会科学の基礎(特に経済学)」に通じ、かつ数理・データサイエンス・AIを駆使して社会課題の構造を的確に理解・分析できる領域(文理)横断型人材
- ⑤ 「STEAM」教育による多面的な学びにより柔軟な思考を身に付け、周囲の人間と協力して複雑な課題に積極的に挑戦できる人材

※1 科学・技術・工学・芸術・教育を横断して「創造的に考え、課題を解決する力」を育てる教育

カリキュラム概要



教育の特色

特色
1

デザイン思考 × 地域課題PBL

「デザイン思考」のプロセスを学環教育の中核をなす地域課題PBL(プロジェクト型授業)において展開します。実習先での業務を体験することで、「仕事」「顧客」等への理解を深め、本質的な課題を発見し、その解決に向けて新たな価値やシステムを創出するべく試行錯誤を繰り返しながら、改善を図り、地域活性化につながる具体的な成果に結実することを目指します。



※PBLの一例として、地域課題PBLの授業風景

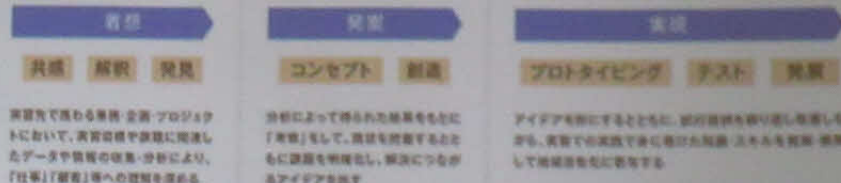
「デザイン思考」とは?

「デザイン思考」は、課題の当事者(ユーザー)中心の発想をもとに課題解決を図る方法論。すなわち、複雑な社会課題の解決に向けた創造的なプロセスでありメソッド。

「地域課題PBL」とは?

教員や企業員に委嘱(3ヵ月程度)、学生が実社会の「人口減少」「観光振興」「産業支援」といったリアルな地域課題を発見・分析し、解決策を提案・実践する学習形式。

デザイン思考の
3つのステップ

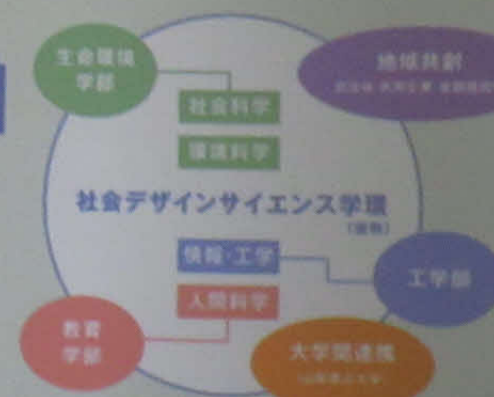


特色
2

学環がつなぐ専門領域

教育学部、工学部、生命環境学部の教育資源をつなぎ、領域横断的なカリキュラムを柔軟に編成し、地域社会と連携した「地域共創型」の実践的教育を効率的に実施するとともに、課題解決型学習(PBL)を中核とする演習・実習を重視したカリキュラムにより、学生が主体的・自律的に学習するための環境を構築します。

※専門領域のコース分けは行わない



※社会デザインサイエンス学環(仮称)は設置構想中です。設置計画は変更であり、今後、内容に実質的な変更が行われる可能性があります。

社会デザインサイエンス学環 (R10設置)

社会デザイン
サイエンス学環
(仮称)

人材育成目標 「社会の未来をデザイン」できる人材の育成

既存学部が有する教育リソースの活用による、デザイン思考に基づき多様で複雑な社会課題を解決に導く領域(文理)横断型人材の育成

学士(社会科学)

養成する人材像

- ① 「デザイン思考」に基づき主体的に行動して、新たな価値の創造に貢献する起業家精神(アントレプレナーシップ)により社会の発展の原動力となる人材
- ② 地域社会と連携した地域貢献により地域課題の解決に取り組み、地域活性化に寄与する人材
- ③ 課題解決型学習(PBL)を通じて、地域社会や企業等と連携・協働し、対話や合意形成を通じて現実の課題に主体的に取り組むことができる人材
- ④ 「社会科学の基礎(特に経済学)」に通じ、かつ数理・データサイエンス・AIを駆使して社会課題の構造を的確に理解・分析できる領域(文理)横断型人材
- ⑤ 「STEAM」教育……による多面的な学びにより柔軟な思考を身に付け、周囲の人間と協力して複雑な課題に積極的に挑戦できる人材

※1 科学・技術・工学・芸術・教育を統合し「課題解決」を実現する人材、課題を解決する力も育てる教育

カリキュラム概要



教育の特色

特色1

デザイン思考 × 地域課題PBL

「デザイン思考」のプロセスを学環教育の中核をなす地域課題PBL(プロジェクト型授業)において展開します。実習先での業務を体験することで、「仕事」「顧客」等への理解を深め、本質的な課題を発見し、その解決に向けて新たな価値やシステムを創出するべく試行錯誤を繰り返しながら、改善を図り、地域活性化につながる具体的な成果に結実することを目指します。



左がPBLの「課題解決」の授業風景

「デザイン思考」とは?

「デザイン思考」は、課題の発見(ユーザー中心の発想)と課題解決の両方を重視する。すなわち、複雑な社会課題の解決に向けた創造的なプロセスであり、デザイン。

「地域課題PBL」とは?

自治体や企業等に置き(3ヵ月程度)、学生が実社会の「人間関係」「観光資源」「産業振興」などの課題を発見・分析し、解決策を提案・実践する学習形態。

デザイン思考の3つのステップ

初期 理解 発見

実習先で得られる業務・企画・プロジェクトにおいて、実習先や課題に抱いたアークや教育の発見・分析により、「仕事」「顧客」等への理解を深める

中期 コンセプト 創造

分析によって得られた結果をもとに「発想」をして、実践を始める。また、課題を明確にし、解決につなげるアイデアを出す

後期 プロトタイプ化 テスト 発表

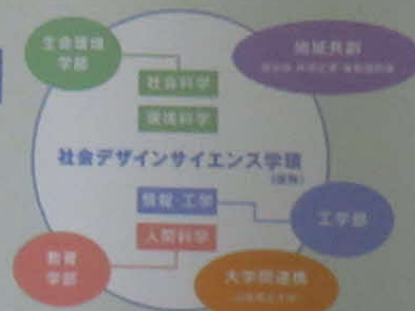
アイデアを形にするために、創出されたアイデアをテストし、改善。最終的に発表会で発表し、地域社会に貢献する

特色2

学環がつなぐ専門領域

教育学部、工学部、生命環境学部の教育資源をつなぎ、領域横断的なカリキュラムを柔軟に編成し、地域社会と連携した「地域貢献型」の実践的教育を効率的に実施するとともに、課題解決型学習(PBL)を中核とする演習・実習を重視したカリキュラムにより、学生が主体的・自律的に学習するための環境を構築します。

※専門領域のコース分けは行わない



※社会デザインサイエンス学環(仮称)は設置後創設です。設置計画は決定であり、今後、内容に変更がある可能性があります。